

LMO-CA651U2 V02

USB 2.0 MO & Card Reader/Writer UNIT

MO&カードリーダー/ライター ユニット・ユーザズマニュアル

LMO-CA651U2



Logitech

目次

取扱い上のご注意	2
ごあいさつ	8
ご注意	8
付属品の確認	9
第1章 製品のご紹介	10
1.1 製品の特徴	10
1.2 使用環境	12
1.3 各部の名称と機能	14
1.4 使用可能なメディアについて	17
1.5 接続の前に	19
第2章 Windows®環境での使用方法	21
2.1 接続とインストール	21
2.1.1 Windows XP の場合	21
2.1.2 Windows Me の場合	23
2.1.3 Windows 98 の場合	26
2.1.4 Windows 2000 の場合	30
2.2 メディアのセットとアクセスについて	35
2.3 フォーマットについて	37
2.3.1 MO メディアのフォーマット	37
2.3.2 メモリーカードのフォーマット	40
2.4 メディアの取り出し方法について	41
2.4.1 MO メディアの取り出し方法	41
2.4.2 メモリーカードの取り出し方法	42
2.5 本製品を取り外す場合は	46
2.6 補足事項	48
第3章 Macintosh 環境での使用方法	50
3.1 接続とインストール	50
3.1.1 ドライバのインストール	50
3.1.2 本製品の接続	52
3.2 メディアのセットとアクセスについて	54
3.3 メディアのフォーマットについて	55
3.4 メディアの取り出しについて	56
3.5 補足事項	57

第4章 スタンドアロンモード	58
4.1 MOメディアのフォーマット	58
4.2 メモリーカードからMOメディアヘデータのコピー	61
第5章 補足事項	64
5.1 トラブルシューティング	64
5.1.1 パソコン接続時のトラブル	64
5.1.2 スタンドアロンモードでのトラブル	68
5.2 保守とその他の注意事項	70
ハードウェア仕様	71

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

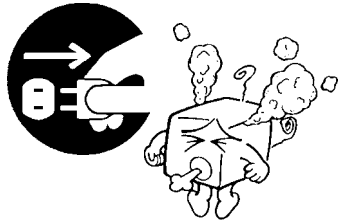


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

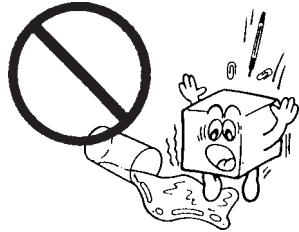
本体から異臭や煙が出た時は、ただちにACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

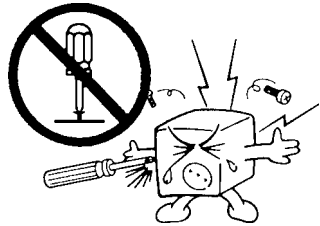
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



正しい電源で

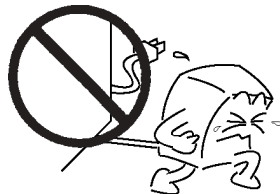
使用してください。

ACアダプタは必ず本製品付属のものを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。



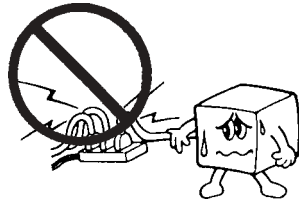
ACアダプタのコードを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

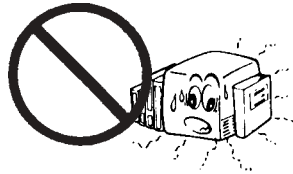
ACアダプタはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



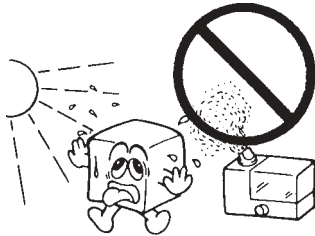
ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



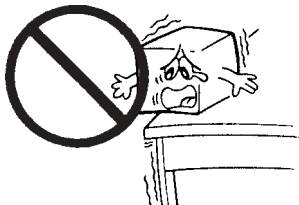
通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、ほこりの多い場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

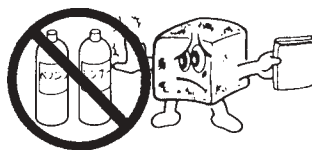


本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。

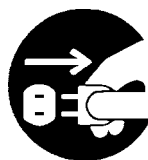


⚠ 注意

本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いておいてください。



本製品の動作中およびコピー中にメディアの抜き差し、電源のON/OFFはしないで下さい。



その他の禁止事項

静電対策をしてください。

静電気により本製品に損傷を与えることがあります。本製品に対応メディアをセットする際は、パソコン本体の金属が露出している部分に触れるなどして、体内の静電気を放電してからお取り扱いください。



その他の強制事項

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定/接続方法、機能/仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

VCCIに基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

用語について

本マニュアルではPCMCIA TYPE スロットに装着可能なメモリーカード(アダプタを使用するカードを含む)を総称して「メモリーカード」と表記しております。本文中の説明で使用する「メモリーカード」には、その他のタイプのものは含まれません。

付属品の確認

MO&カードリーダーユニット	1台
ACアダプタ	1個
USBケーブル(USB2.0 High Speed 対応).....	1本
横置き用ゴム足.....	1シート
ソフトウェアCD-ROM	1枚
MOイジェクトツール	1個
マルチカードアダプタ(LMC-CA41AD).....	1式
MO&カードリーダーユニット・ユーザーズマニュアル	本書
保証書/ユーザー登録カード	1枚

本製品は精密電子機器です。輸送時には、必ず付属の梱包材をご使用ください。

*MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。
Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

第 1 章

製品のご紹介

1 . 1 製品の特徴

本製品は USB 2.0 High-Speed に対応した MO& メモリーカードリーダー/ライターです。640MB までの MO メディアと、PCMCIA Type スロットに装着可能なメモリーカードを使用することができます。

本製品の特徴

USB 2.0 の高速転送に対応

パソコンとの接続時には、ドライブ本来の性能をフルに引き出す USB 2.0 High-Speed 転送に対応していますのでセットしたメディアからの高速転送が可能です。もちろん従来の USB 1.1 でも接続可能です。また、Windows、Macintosh 両対応ですので非常に幅広いパソコン環境でお使いいただけます。

1 台 2 役

本製品 1 台で 640MB までの MO メディアと PCMCIA Type スロットに装着可能なメモリーカードを使用可能です。また、市販のカードアダプタを使用すれば SmartMedia や SD メモリーカードなどデジタルカメラの記録メディアを使用することも可能です。(「1 . 4 使用可能なメディア」参照)

パソコンなしでコピー & MO のフォーマットが可能

パソコンにつながずに MO メディフォーマット()やメモリーカードから MO メディアへのコピーが可能です。

パソコンに接続せずに MO メディアのフォーマットを行った場合、フォーマット形式は全て FAT16 となります。Mac OS X 10.1.5 までの Mac OS 環境でご使用の場合には、540MB 以下のメディアをご使用ください。640MB メディアはアクセスできません。

Mac OS X 10.2 以降の場合は 640MB MO メディアでも使用可能です。



重要なお注意

- ・本製品をバスパワーで使用することはできません。必ず付属のACアダプタを接続してください。
 - ・本製品をUSB 2.0のHigh-Speedで使用される場合、パソコン本体への接続は必ずUSB 2.0拡張ポートへ接続してください。標準搭載されているUSB 1.1ポートでの使用も可能ですが、その場合の最大転送速度は従来と同じFull-Speed (12Mbps) となります。
 - ・本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0対応ケーブルを使用してください。USB 2.0に対応していないケーブルでUSB 2.0ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
 - ・USB 1.1ポートへ接続して使用する際にもなるべくUSB 2.0対応ケーブルをご使用ください。
-

1 . 2 使用環境

本製品を USB 2.0/1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のような条件を満たしていなければなりません。

対応パソコンについて

本製品を USB 2.0/1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。全て USB ポートを搭載している機種に限定されます。また、High-Speed での転送を実現するためにはパソコン側のインターフェースが USB 2.0 に対応していなければなりません。

USB 1.1 ポートに接続する場合

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	eMac
	iMac
	Power Mac G4
	Power Macintosh G3 (Blue & White)
	iBook
	PowerBook G4
	PowerBook (FireWire)
	PowerBook G3 (BronzeKeyboard)

USB 2.0 ポートに接続する場合

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

対応 OS について

本製品を USB 2.0/1.1 インターフェースに接続する場合は、以下の OS をご使用ください。全て日本語 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

USB 1.1 ポートに接続する場合

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition/Professional

Windows Me

Windows 98 (Second Edition 含む)

Windows 2000 Professional

アップルコンピューター社

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 まで

Mac OS X 10.1.3 以降

USB 2.0 ポートに接続する場合

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition/Professional

Windows Me

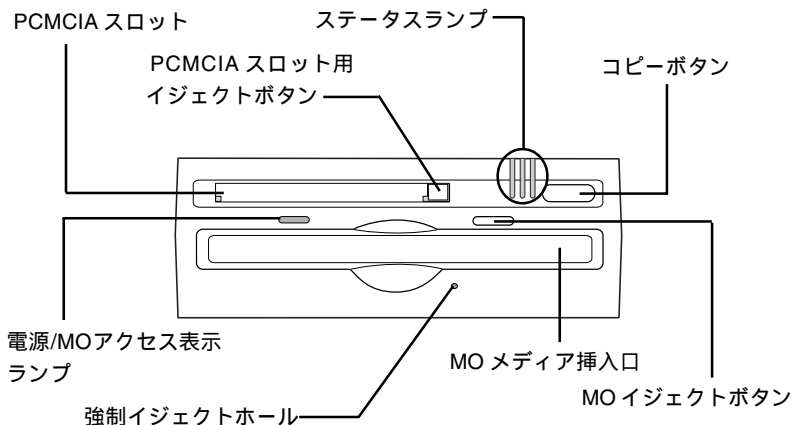
Windows 98 (Second Edition 含む)

Windows 2000 Professional

1.3 各部の名称と機能

1

本製品前面



PCMCIA スロット

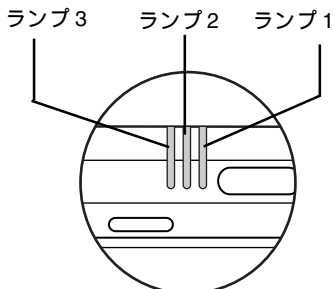
CompactFlash カードや microdrive、ハードディスクカードなどをセットするスロットです。アダプタが必要なカードの場合には、アダプタに装着してセットします。(「1.4 使用可能なメディアについて」をご参照ください)

PCMCIA スロット用イジェクトボタン

PCMCIA スロットにセットされたカードを取り出すためのボタンです。カードがセットされた状態でこのボタンが飛び出します。カードを取り出す際はボタンを押します。

ステータスランプ(右から) 1.2.3

電源の状態・メディアのアクセス状態・セット状態を表示します。
詳細は次ページをご参照ください。



(ステータスランプ続き)

パソコン接続時

ステータスランプ1

電源投入後、パソコンへ接続すると緑色に点灯します。PCMCIAスロットにセットしたメモリーカードのデータアクセス時はオレンジ色に点滅します。

ステータスランプ2,3

パソコン接続時は消灯しています。

スタンドアロンモード時

ステータスランプ1

- ・ MOフォーマットモードでは電源がONになるとオレンジ色に点灯します。フォーマット実行時にはオレンジ色に点滅します。フォーマットが正常に終了すると消灯します。フォーマットエラー時には赤色に点灯します。
- ・ データコピーモードでは電源がONの状態では消灯しています。コピー中はオレンジ色に点滅します。コピーが正常に終了すると緑色に点灯します。コピーに失敗したときは赤色に点灯します。

ステータスランプ2

- ・ MOメディアがセットされると赤色に点灯します。フォーマット時・コピー時共にメディアに問題がある場合は赤色に点滅します。

ステータスランプ3

- ・ メモリーカードがセットされると赤色に点灯します。フォーマット時・コピー時共にメディアに問題がある場合は赤色に点滅します。

コピーボタン

スタンドアロンモードで、PCカードからMOメディアへのコピー /MOメディアのフォーマットを行う際に使用します。(「第4章 スタンドアロンモード」をご参照ください。) パソコン接続時には使用しません。

電源/MOアクセス表示ランプ

本製品に電源がONになると緑色に点灯します。セットしたMOメディアにアクセスが行われるとオレンジ色に点滅します。

強制イジェクトホール

なんらかの原因でMOメディアが取り出せなくなったときに使用します。(第5章「5.1 トラブルシューティング」をご参照ください)

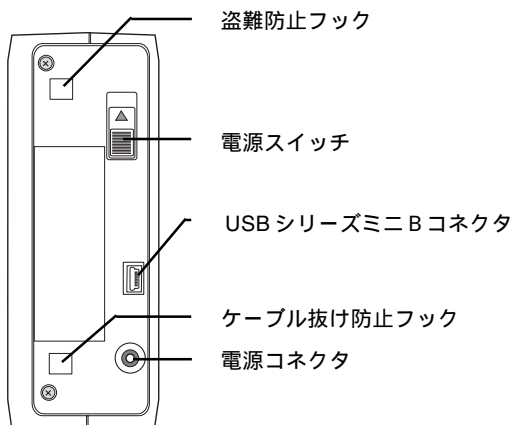
MOメディア挿入口

MOメディアをセットする部分です。

MOイジェクトボタン

パソコン本体のOSが起動していないときに、MOメディアを取り出したい場合に使用します。

本製品背面



盗難防止フック

盗難防止用にワイヤを取り付けておくことができます。

電源スイッチ

本製品の電源を ON/OFF します。

USB シリーズミニ B コネクタ

付属の USB ケーブルでパソコン本体の USB ポートと接続します。

ケーブル抜け防止フック

ACアダプタのプラグが外れないようにケーブルを引っ掛けておく部分です。

電源コネクタ

付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続します。

1.4 使用可能なメディアについて

PCMCIA スロットにセット可能なメディア

本製品で使用可能なメモリーカードは以下の通りです。

1.8 インチハードディスクカード
(東芝 モバイルディスク , LPM-HD シリーズ)
FLASH-ATA カード

以下のカードを使用する場合には、専用 PC カードアダプタ (TYPE 仕様のもの) が必要です。

- ・メモリスティック (注1) ・SD メモリカード (注1)
- ・マルチメディアカード (注1) ・CompactFlash
- ・microdrive
- ・SmartMedia (注1、2)
- ・xD ピクチャーカード

注1 : 本製品付属の PC カードアダプタに装着して使用できます。

注2 : 3.3V 仕様のもの : ID 付き含む

弊社製メモリーカードでは、以下の製品の動作が確認されています。(各カードに固有の制限事項がある場合は、その制限事項に準じます。)

ハードディスクカード
: LPM-HD5G / HD2G / HD1G

CompactFlash カード
: LMC-CF32 / CF64 / CF128 / CF256 / CF512

FLASH-ATA カード
: LPM-FD16 / FD32 / FD48 / FD128 / FD160

なお、弊社では以下の型番でメモリーカード用のアダプタを発売しております。

- ・LMC-CFAD CompactFlash カード用アダプタ



重要なお注意

メモリーカードをご利用の際は、以下の点にご注意ください。

メモリスティック、SD メモリーカードの著作権保護機能にはアクセスすることはできません。

(次ページに続く)



重要なご注意（続き）

メモリーカード以外の PC カードは使用できません。

5V 仕様の SmartMedia を使用することはできません。

ID 付き SmartMedia を使用した場合は通常のメディアとして認識されます。（ID 機能はサポートされていません。）

SmartMedia は、フォーマットのクラスタサイズが規格で決められています。これを Windows 標準のフォーマットなどでフォーマットすると、クラスタサイズが変わってしまうことがあります。

本製品でフォーマットを行うと、デジタルカメラから認識されなくなる場合があります。各メモリーカードを、デジタルカメラ等でも使用される場合には、本製品では絶対にフォーマット行わないで下さい。

MO メディア

本製品では、下表でのついた MO メディアを使用することができます。

標準 = 標準タイプ OW = オーバーライトタイプ

128MB	標準	
	OW	-
230MB	標準	
	OW	
540MB	標準	
	OW	
640MB	標準	
	OW	
1.3GB	標準	x
	OW	-
2.3GB	標準	x
	OW	-

= 使用可能
 x = 使用不可
 - = このタイプは現在発売されていません。



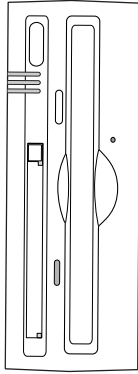
ご注意

- ・本製品では 1.3GB および 2.3GB の MO メディアを使用することはできません。
- ・他の MO ユニットとのデータ交換には、128MB の MO メディアは使用しないでください。（この用途は保証範囲外とさせていただきます。）
 これは 128MB の MO ユニットには、初期のドライブを使用した製品があり、レーザー光の強度が本製品と異なる可能性があるためです。データ交換には、230MB 以上の MO メディアをご使用ください。

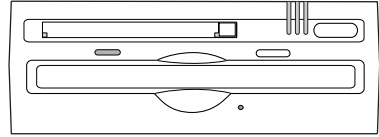
1.5 接続の前に

設置方向について

本製品は横置き・縦置きどちらでも設置することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置すると、トラブルの原因となる場合があります。

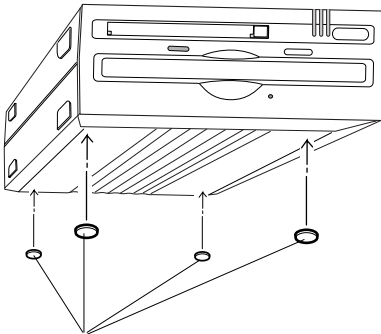


縦置きの場合



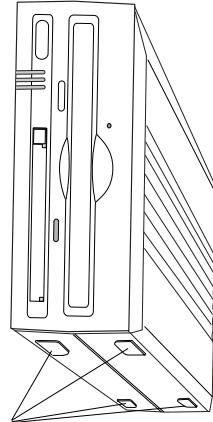
横置きの場合

横方向で設置する場合は設置時、下図のように付属のゴム足を、本製品の底面4ヶ所に貼り付けてください。



ゴム足

縦方向で設置する場合には設置時右図のように側面の滑り止め用クッションを下にして設置してください。

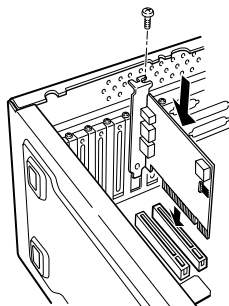


滑り止め用クッション

USB 2.0 インターフェイスボードの接続 (Windows のみ)

パソコン本体に USB 2.0 拡張ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェイスボード (PCI 用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード) が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前に USB 2.0 インターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。(本製品を従来の USB 1.1 ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。その場合の転送速度は従来の USB 1.1 と同じ Full-Speed (12Mbps) になります。)



USB 2.0 インターフェイスボードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCI バス用 USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA-USB2	PCI	インターフェイスボード単体

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード

型番	バス	備考
LPM - CBUSB2	CardBus	インターフェイスカード単体

第 2 章

Windows®環境での使用方法

2 . 1 接続とインストール

本製品はOSのバージョンにより接続とインストール手順が異なります。本節ではOSごとに接続とインストール方法をご説明いたしますので、該当する部分をお読みください。



ご注意

本製品を USB 2.0 の High-Speed で使用する場合は接続先のパソコンの USB 2.0 拡張ポートへ接続します。ご使用のパソコンに USB 2.0 ポートがない場合は、接続先を USB 1.1 ポートにして本製品の接続とインストールを行ってください。USB 1.1 ポートへ接続した場合、Full-Speed (12Mbps) までの対応となります。

2

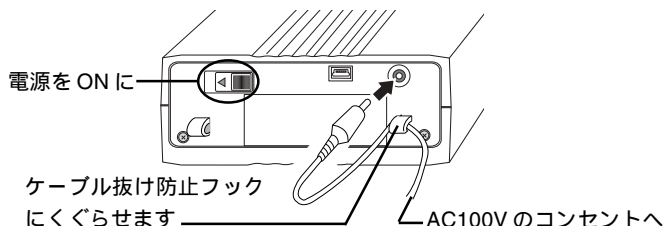
2 . 1 . 1 Windows XP の場合

1


パソコン本体の電源 ON にして Windows のシステムを起動し、管理者権限をもつユーザー（コンピュータの管理者）としてログオンしてください。

2

本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくぐらせてください。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。AC アダプタの接続ができた後本製品の電源スイッチをスライドして電源を ON にします。



ご注意

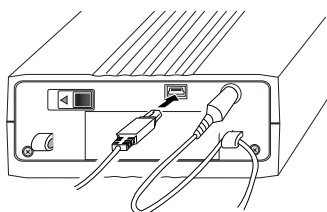
背面の電源スイッチは「」方向にスライドさせた後、元の位置に戻ります。電源を OFF にする際も同じ方向にスライドさせてください。

2.1 接続とインストール

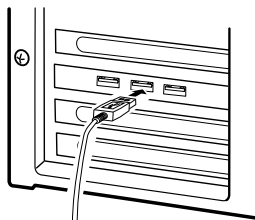
2.1.1 Windows XP の場合

3

本製品前面の電源/MO アクセス表示ランプが緑色に点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズミニBコネクタと、パソコン本体のUSBポートを接続してください。



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側
大きい方のコネクタ

4

自動的に認識され使用可能な状態になります。下の手順を参照して接続とインストールの結果を確認してください。

接続結果の確認

「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「管理」を選択してください。

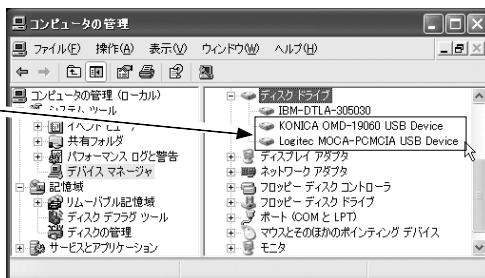
「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されますので左側の一覧から「デバイスマネージャ」をクリックしてください。

ディスクドライブに以下のデバイスが登録されていることを確認してください。(確認後「デバイスマネージャ」ウィンドウを閉じてください。)

KONICA OMD-19060 USB Device

Logitech MOCA-PCMCIA USB Device

この2つのデバイスが登録されていることを確認



以上で接続とインストールは終了です。

「2.2 メディアのセットとアクセスについて」から「2.6 補足事項」ではWindows環境での使用方法をご説明していますのでご使用前に必ずお読みください。

2 . 1 . 2 Windows Me の場合

Windows Me で本製品を使用する場合、本製品を接続する前に以下の手順でドライバのインストールをしなければなりません。これを行わないで接続した場合、パソコンがハングアップ状態(キーボードやマウスの操作を全く受け付けない状態)になる危険性がありますのでご注意ください。

1

本製品を接続していない状態で Windows Me のシステムを起動してください。起動後に本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

Point

ポイント

ここで CD-ROM の自動挿入機能が有効になっていると、自動的にセットアップランチャーが起動しますが、この手順ではセットアップランチャーを使用しませんので「終了」と書かれたボタンをクリックして、セットアップランチャーのウィンドウを閉じてください。

2

「スタート」ボタンをクリックし、表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択してください。

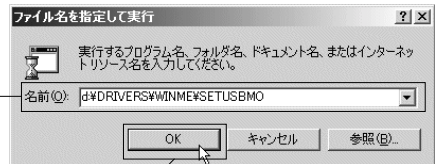
3

以下のウィンドウが表示されますので「名前」のテキストボックスに「d:¥DRIVERS¥WINME¥SETUSBMO」と入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

1. ここに以下のように入力して、

d:¥DRIVERS¥WINME¥SETUSBMO

2. 「OK」ボタンをクリック



Point

ポイント

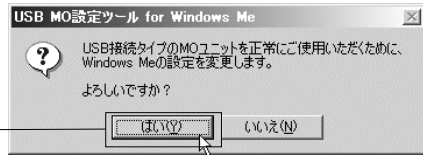
ここで「d:」は「LogitechWare」CD-ROM をセットした CD-ROM ドライブのドライブ名です。環境により異なりますので正しいドライブ名を指定してください。(ドライブ名は、マイコンピュータを開き各アイコンの名前の後にアルファベットで表示されています。)

2.1 接続とインストール

2.1.2 Windows Me の場合

4

USB MO 設定ツール for Windows Me が起動します。「はい」ボタンをクリックしてください。



「はい」をクリック

2

5

必要なファイルがシステムに転送されます。転送が終了すると右のウィンドウが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

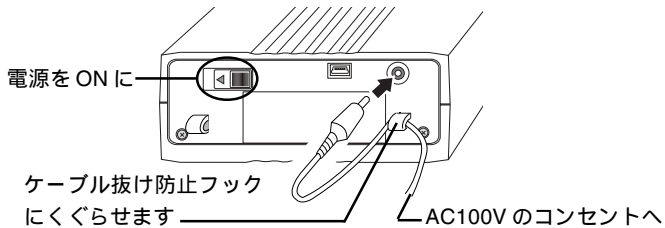


「OK」をクリック

以上でインストールは終了です。「LogitechWare」CD-ROMをドライブから取り出しておいてください。続いて本製品の接続を行います。

6

本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくぐらせてください。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続してください。ACアダプタの接続ができたら本製品の電源スイッチをスライドして電源をONにします。

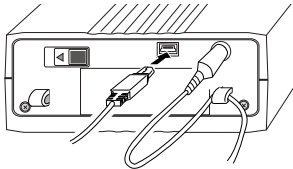


ご注意

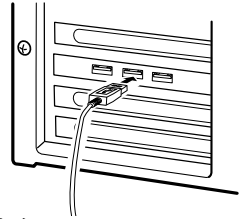
背面の電源スイッチは「 」方向にスライドさせた後、元の位置に戻ります。電源をOFFにする際も同じ方向にスライドさせてください。

7

本製品前面の電源/MO アクセス表示ランプが緑色に点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズミニBコネクタと、パソコン本体のUSBポートを接続してください。



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側
大きい方のコネクタ

2

8

自動的に認識され使用可能な状態になります。下の手順を参照して接続とインストールの結果を確認してください。

接続結果の確認

「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されますので「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

ディスクドライブに以下のデバイスが登録されていることを確認してください。

KONICA OMD-19060

Logitech MOCA-PCMCIA

1. この2つのデバイスが登録されていることを確認

2. 確認後、「OK」ボタンをクリック



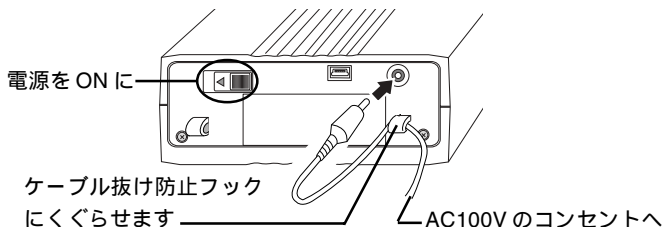
以上で接続とインストールは終了です。

「2.2 メディアのセットとアクセスについて」から「2.6 補足事項」ではWindows環境での使用方法をご説明していますのでご使用の前に必ずお読みください。

2.1.3 Windows 98 の場合

1 パソコン本体の電源 ON にして Windows のシステムを起動してください。

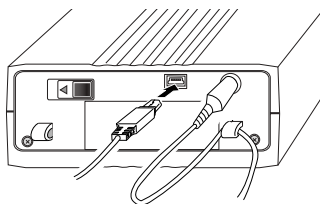
2 本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくぐらせてください。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。AC アダプタの接続ができたなら本製品の電源スイッチをスライドして電源を ON にします。



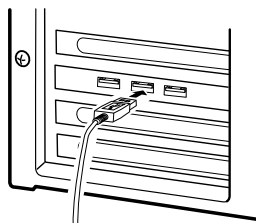
ご注意

背面の電源スイッチは「**↑**」方向にスライドさせた後、元の位置に戻ります。電源を OFF にする際も同じ方向にスライドさせてください。

3 本製品前面の電源/MO アクセス表示ランプが緑色に点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB シリーズミニ B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側
大きい方のコネクタ

4

本製品を接続するとプラグ & プレイで認識されて、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。

「次へ」をクリック



5

右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で
2. 「次へ」をクリック



6

右下のウィンドウが表示されたら、CD-ROM ドライブに本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM をセットしてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態にして
2. ここに以下のように入力して
E:¥DRIVERS¥WIN98
3. 「次へ」をクリック



Point

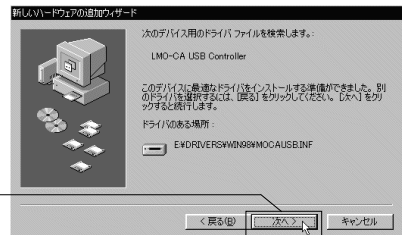
ポイント

ここで「E:」は「LogitecWare」CD-ROM をセットした CD-ROM ドライブのドライブ名です。環境により異なりますので正しいドライブ名を指定してください。(ドライブ名は、マイコンピュータを開き各アイコンの後にアルファベットで表示されています。)

7

右のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



2.1 接続とインストール

2.1.3 Windows 98 の場合

8

必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック



9

再び「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。

「次へ」をクリック



10

右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で
2. 「次へ」をクリック



11

右下のウィンドウが表示されます。手順 10 と同じように検索場所を指定してください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態にして
 2. ここに以下のように入力して
- E:¥DRIVERS¥WIN98
3. 「次へ」をクリック



12

右のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



- 13** 必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

- 14** 「LogitecWare」CD-ROM をドライブから取り出しておいてください。最後に下の手順を参照して接続とインストールの結果を確認してください。

接続結果の確認

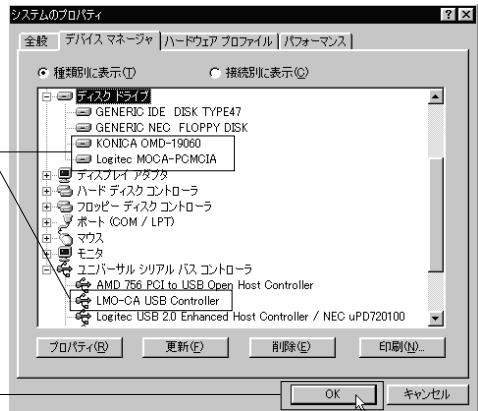
「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されますので「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

以下の3つのデバイスが登録されていることを確認してください。

- ・ ディスクドライブに
KONICA OMD-19060
Logitec MOCA-PCMCIA
- ・ ユニバーサルシリアルバスコントローラに
LMO-CA USB Controller

1. この3つのデバイスが登録されていることを確認



2. 確認後、「OK」ボタンをクリック

以上で接続とインストールは終了です。

「2.2 メディアのセットとアクセスについて」から「2.6 補足事項」ではWindows環境での使用方法をご説明していますのでご使用前に必ずお読みください。

2.1.4 Windows 2000 の場合

Windows 2000環境では、Service Packのバージョンによりインストール方法が以下ようになります。

ServicePack 3以降の環境の場合は、標準のドライバで動作しますので本製品を接続するだけで自動的に認識され使用可能な状態になります。手順 から までを飛ばして手順 へお進みください。

ServicePack 2までの環境の場合は、以下の手順に従って本製品のドライバをインストールした後に本製品の接続を行ってください。

ドライバのインストール

1

本製品を接続していない状態で Windows 2000 のシステムを起動し、管理者権限のあるグループ（例えば「Administrators」グループ等）のメンバーとしてログオンしてください。起動後に本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

Point

ポイント

ここでCD-ROMの自動挿入機能が有効になっていると、自動的にセットアップランチャーが起動しますが、この手順ではセットアップランチャーを使用しませんので「終了」と書かれたボタンをクリックして、セットアップランチャーのウィンドウを閉じてください。

2

「スタート」ボタンをクリックし、表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択してください。

- 3 以下のウィンドウが表示されますので「名前」のテキストボックスに「E:¥DRIVERS¥WIN2000¥SETUP」と入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

1. ここに以下のように入力して、

E:¥DRIVERS¥WIN2000¥SETUP

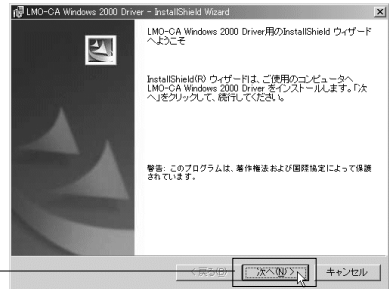


2. 「OK」ボタンをクリック

Point ポイント

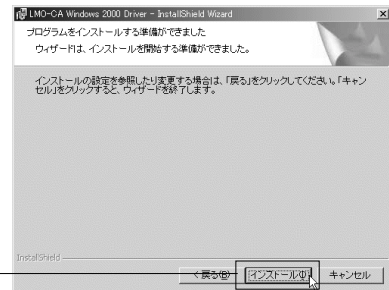
ここで「E:」は「LogitechWare」CD-ROM をセットした CD-ROM ドライブのドライブ名です。環境により異なりますので正しいドライブ名を指定してください。(ドライブ名は、マイコンピュータを開き各アイコンの名前の後にアルファベットで表示されています。)

- 4 右のウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック

- 5 インストール先フォルダの指定ウィンドウが表示されます。特に問題のない場合はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。ここで「変更」ボタンを押すとインストール先のフォルダを変更することができます。



「次へ」をクリック

2.1 接続とインストール

2.1.4 Windows 2000 の場合

6

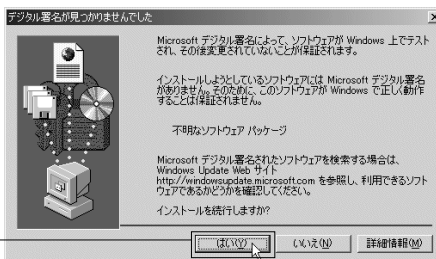
必要なファイルがシステムに転送され終了すると右の画面が表示されます。



「完了」をクリック

7

下のウィンドウが表示されたら「はい」ボタンをクリックしてください。(表示されない場合は手順8へお進みください。) 以上でインストールは終了です。「LogitechWare」CD-ROMをドライブから取り出しておいてください。続いて本製品の接続を行います。



「はい」をクリック

ここで「はい」ボタンが表示されない場合は、「OK」ボタンをクリックすると、本ドライバがインストールされない状態で「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」のウィンドウが表示され、「デバイスをインストール中にエラーが発生しました。」と表示されます。「完了」ボタンをクリックすると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」再度表示されます。このような場合には、「2.6 補足事項」の「ドライバ署名オプションについて」を参照して、「ドライバ署名オプション」の変更を行ってください。



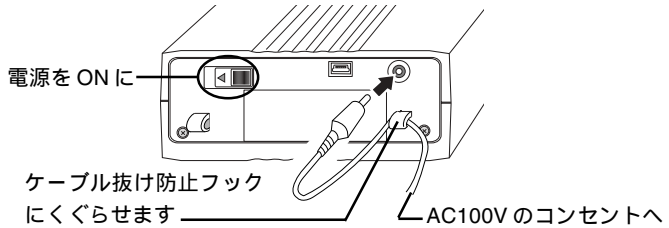
参考

本ドライバは、CD-ROM への保存時点で「Microsoft デジタル署名」を取得しておりませんので、上の「デジタル署名が見つかりませんでした」のウィンドウが表示されます。ロジテック株式会社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows 2000 上で正常に動作することを確認して提供しています。そのまま「はい」をクリックしてインストールを行ってください。

本製品の接続

8


本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくぐらせてください。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。AC アダプタの接続ができた後本製品の電源スイッチをスライドして電源を ON にします。



2

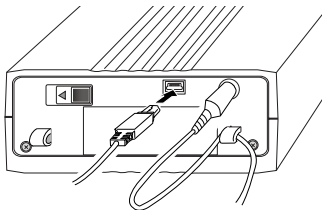


ご注意

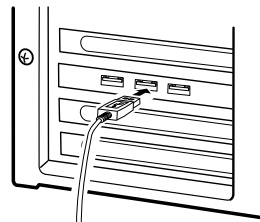
背面の電源スイッチは「」方向にスライドさせた後、元の位置に戻ります。電源を OFF にする際も同じ方向にスライドさせてください。

9

本製品前面の電源 / MO アクセス表示ランプが緑色に点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB シリーズミニ B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側
大きい方のコネクタ

10

再度「デジタル署名が見つかりませんでした」のウィンドウが表示されたら手順と同じように「はい」ボタンをクリックしてください。(表示されない場合は接続結果の確認へお進みください。)

11

自動的に認識され使用可能な状態になります。下の手順を参照して接続とインストールの結果を確認してください。

接続結果の確認

2

「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「管理」を選択してください。

「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されますので左側の一覧から「デバイスマネージャ」をクリックしてください。

ディスクドライブに以下のデバイスが登録されていることを確認してください。(確認後「デバイスマネージャ」ウィンドウを閉じてください。)

Service Pack 2 までの環境の場合

KONICA OMD-19060 SCSI Optical Device
Logitech MOCA-PCMCIA SCSI Disk Device

Service Pack 3 以降の環境の場合

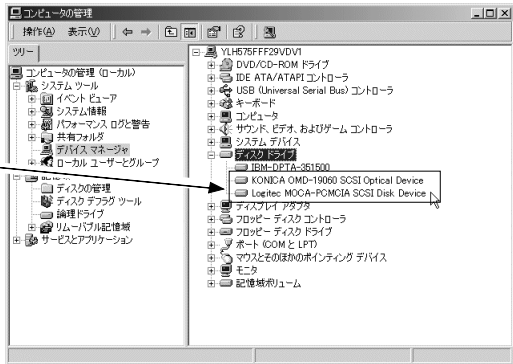
KONICA OMD-19060 USB Device
Logitech MOCA-PCMCIA USB Device

この2つのデバイスが登録されていることを確認



KONICA OMD-19060 USB Device
Logitech MOCA-PCMCIA USB Device

Service Pack 3 以降の環境では上のデバイス名が表示されます。



Service Pack 2 までの環境の場合

以上で接続とインストールは終了です。

「2.2 メディアのセットとアクセスについて」から「2.6 補足事項」ではWindows環境での使用方法をご説明していますのでご使用前に必ずお読みください。

2.2 メディアのセットとアクセスについて

接続とインストールが終了すると、マイコンピュータ上に本製品のアイコンが2つ表示されます。これらの各アイコンをクリックすると本製品にセットしたメディアにアクセスすることができます。

Windows Me,98,2000 では...

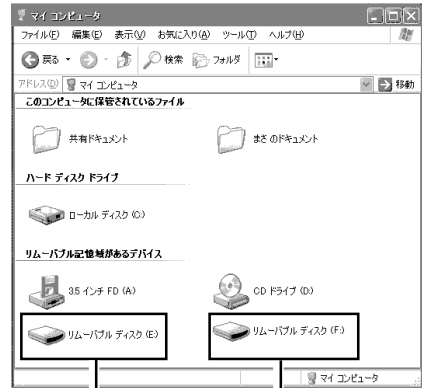
Windows XP では...



本製品のアイコン 1

本製品のアイコン 2

Windows 98 ではメモリーカードに対応するアイコンが右のようになります。



本製品のアイコン 1

本製品のアイコン 2

ドライブ名（「E:」「F:」など）と表示された部分）および、各スロットに対応するアイコンはご使用のパソコン環境により異なります。



参考：メモリーカードアイコンについて

Windows 98 以外の環境でご使用の場合も、「2.4 メモリーカードの取り出し方法」でインストールする「カードイジェクトツール」をシステムにインストールすると、メモリーカードのアイコンが自動的に右のように変わります。

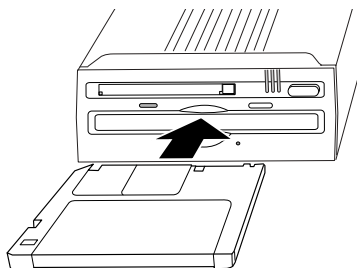
弊社では、Windows XP 環境では「Service Pack 1」を導入していない場合アイコンが変わらないことを確認しております。



メモリーカードアイコン

MOメディアのセット方法

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でMOメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)

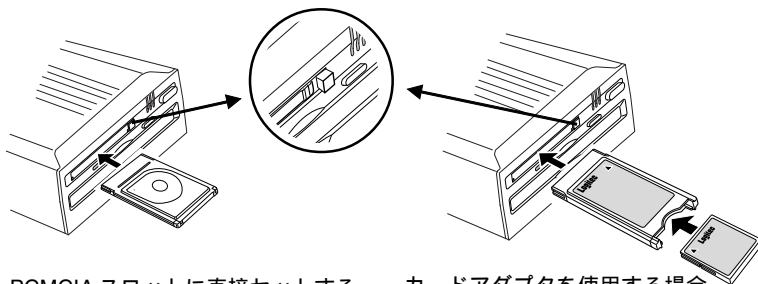


ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないで下さい。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

メモリーカードのセット方法

本製品にメモリーカードをセットする場合は、下図の方向でPCMCIAスロットにしっかりと奥まで挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)挿入後にイジェクトボタンが7mm程飛び出ます。



PCMCIAスロットに直接セットする場合

カードアダプタを使用する場合
(上の図はCompactFlashをセットする場合の例です。)

メディアを取り出す場合は「2.4 メディアの取り出し方法について」をご参照ください。

Point ポイント

付属のPCカードアダプタ(LMC-CA41AD)に対応メディアをセットしてPCMCIAスロットにセットした場合も、パソコンからは他のメモリーカードと同じように認識されます。

2.3 フォーマットについて

2.3.1 MOメディアのフォーマット

Windows Me, 98 の場合

Windows Me, 98 の場合、MOメディアのフォーマットは付属のユーティリティ「ディスクフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを1回クリックして、選択状態にします。



2. 「セットアップの起動」をクリックします。

Point

ポイント

ディスクユーティリティには「ディスクフォーマッタ」以外にも、「ディスクジェクトツール」と「MO補助ドライバ」が含まれています。これらのユーティリティは本製品を使用する上で必要ですので、必ずインストールしてください。



2.3 フォーマットについて

2.3.1 MOメディアのフォーマット

インストールが終了したら、ディスクフォーマッタはタスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」「Logitech」とポイントし、「ディスクフォーマッタ」をクリックすることで起動できます。



また、インストール時、デスクトップ上にショートカットアイコンを作成した場合は、デスクトップ上の右のアイコンをダブルクリックしても起動することができます。



ディスクフォーマッタが起動したら、MOメディアのフォーマットを行います。フォーマットの手順については、ディスクフォーマッタのヘルプメニューから「トピックの検索」を選択し、表示されるヘルプウィンドウで「操作方法」「MOメディアのフォーマット」をご参照ください。



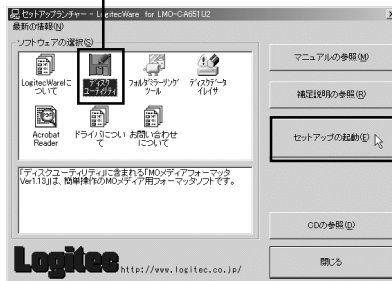
参考

MOメディアは、本製品をパソコンにつながずにフォーマットすることもできます。詳しくは第4章をご参照ください。

Windows XP , 2000 の場合

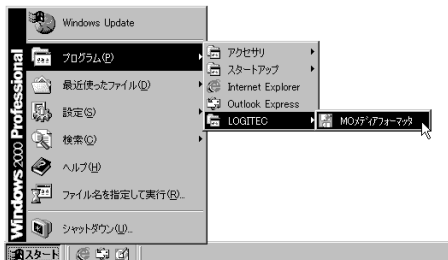
Windows XP、2000 の場合、MO メディアのフォーマットは付属のユーティリティ「MO メディアフォーマッタ」で行います。
本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを
1 回クリックして、選択状態にします。



2. 「セットアップの
起動」をクリック
します。

インストールが終了したら、ディスクフォーマッタはタスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」「Logitec」とポイントし、「MO メディアフォーマッタ」をクリックすると起動できます。



MO メディアフォーマッタの使用方法 (MO メディアのフォーマット手順) については、「Logitec Ware」CD-ROM に収録されたオンラインマニュアルをご参照ください。

2.3.2 メモリーカードのフォーマット

メモリーカードのフォーマットをWindows 上で行いたい場合は、**メモリーカードがセットされた「リムーバブルディスク」**のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。間違えてMOメディアをフォーマットしてしまわないようにご注意ください。ただし、以下の点にご注意ください。

メモリーカードをデジタルカメラ等、本製品以外でもご使用の場合は、使用している機器にてフォーマットを行ってください。本製品にセットしてWindows 上でフォーマットを行うと、デジタルカメラ等で認識できなくなる場合があります。

2 . 4 メディアの取り出し方法について

2 . 4 . 1 MO メディアの取り出し方法

Windows Me , 98 の場合

Windows Me , 98 上で MO メディアを取り出したい場合は、ディスクユーティリティインストール時にインストールされたイジェクトツールを使用します。タスクバーの右図のアイコンをクリックして、表示されるメニューから本製品のドライブ名を選択してください。



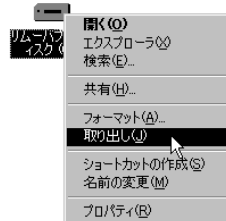
このアイコンをクリックします。

この操作を行うと、MO メディアが 1cm ほど排出されますので、静かに引き出してください。

Windows XP , 2000 の場合

Windows XP , 2000 上で MO メディアを取り出したい場合は、「マイコンピュータ」に登録された本製品のアイコン（リムーバブルディスク）を右クリックして、表示されるメニューから「取り出し」を選択してください。

この操作を行うと、MO メディアが 1cm ほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

- ・本製品前面のイジェクトボタンは Windows が起動していないときに使用します。Windows 稼働中は使用しないでください。
- ・Windows XP , 2000 で MO メディアを取り出すには、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators グループ」）としてログオンする必要があります。

2.4.2 メモリーカードの取り出し方法

取り出しの前に...

カードイジェクトツールのインストール (Windows 98 以外)

メモリーカードを取り外す際は本製品付属のソフトウェア「カードイジェクトツール」を使用します。以下の手順でカードイジェクトツール(LMO-CAツール)をインストールしてください。

Windows 98 (Second Edition 含む) をご使用の場合はドライバのインストール時に本ツールもインストールされておりますので以下の手順によるインストールは必要ありません。「メモリーカードの取り出し手順」へお進みください。

1

Windows のシステムが起動している状態で「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

この時、Windows XP, 2000 では管理者権限をもつユーザー (例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators」等) としてログオンしている必要があります。

2

「スタート」ボタンをクリックし、表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択してください。

3

以下のウィンドウが表示されますので「名前」のテキストボックスに「d:¥DRIVERS¥TOOL¥SETUP」と入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

1. ここに以下のように入力して、

d:¥DRIVERS¥TOOL¥SETUP

2. 「OK」ボタンをクリック



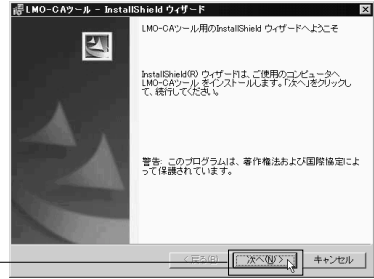
画面は WindowsMe のものですが、手順は全ての OS で共通です。

Point

ポイント

ここで「d:」は「LogitecWare」CD-ROM をセットした CD-ROM ドライブのドライブ名です。環境により異なりますので正しいドライブ名を指定してください。(ドライブ名は、マイコンピュータを開き各アイコンの名前の後にアルファベットで表示されています。)

4 右のウィンドウが表示されます。



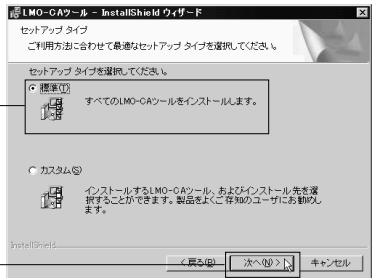
「次へ」をクリック

5 インストール先フォルダの指定ウィンドウが表示されます。特に問題のない場合はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。ここで「変更」ボタンを押すとインストール先のフォルダを変更することができます。



「次へ」をクリック

6 セットアップタイプを選択するウィンドウが表示されます。ここでは「標準」を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。



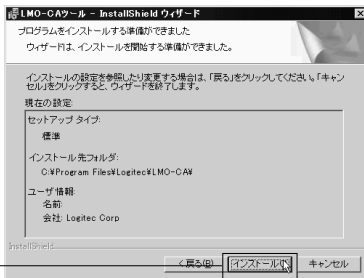
1. 「標準」を選択

2. 「次へ」をクリック

2.4 メディアの取り出し方法について

2.4.2 メモリーカードの取り出し方法

7 右のウィンドウが表示されます。



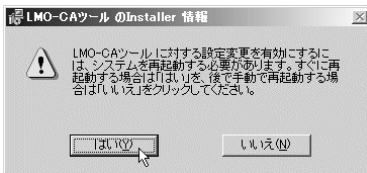
「インストール」をクリック

8 必要なファイルがシステムに転送され終了すると右のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

9 右のウィンドウが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてシステムを再起動してください。



再起動したらインストールは終了です。



参考

本ドライバをアンインストールする場合は「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」(Windows XP の場合は「プログラムの追加と削除」)を選択し、一覧の中から「LMO-CA ツール」を選択してください。

メモリーカードの取り出し手順

本製品にセットしたメモリーカードを取り出す場合は、以下のような点にご注意ください。

取り出す前に、メモリーカードに保存されたデータファイルなどが開かれていないことを確認してください。


取り出す前に、アクセス表示ランプが「点滅」していないことを確認してください。(カードへアクセス中には絶対に取り外しを行わないで下さい。)

パソコン本体がスリープ状態にあるときは、メモリーカードの取り出しは行わないでください。

以上の点を確認後、次の手順で取り外しを行います。

1

タスクバーのシステムトレイにあるカードイジェクトツールのアイコン

() をクリックして、表示されるメニューから「安全なメディアの取り出し」を選択してください。

Windows XP、Me、2000 ではこのように表示されます。

ドライブ F: の安全なメディアの取り出し

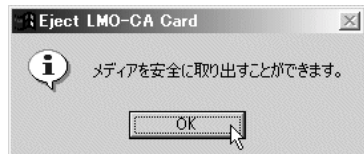
Windows 98 ではこのように表示されます。

LMO-CA Mass Storage Controller の取り外し

— ドライブ F: の安全なメディアの取り出し

2

右のウィンドウが表示されたら、「OK」ボタンをクリックし、前面の PCMCIA スロット用イジェクトボタンを押して PCMCIA スロットからメモリーカードを取り出してください。



ご注意

イジェクトツールを使用して取り出しを行う作業は、一見無駄なようですが、システムの遅延書き込みデータを保護するために必要です。これを行わないで取り外すと、データが失われる場合がありますので、必ず上記の手順で取り出してください。

2.5 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源がONの状態での取り付け、取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合はメディアがセットされていないことを確認したうえで、必ず以下の手順に従って取り外しをしてください。

Point

ポイント

- ・説明中に使用する「E:」「F:」というは本製品のドライブ名ですので環境によって異なります。

Windows XP, 98, 2000での取り外し手順

タスクバーのシステムトレイに表示されている以下のアイコンをクリックして表示される以下の項目をクリックしてください。

Windows XP の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E;F:) を安全に取り外します」

この項目をクリック



このアイコンをクリック

Windows 98 の場合

「LMO-CA Mass Storage Controller の取り外し」

この項目をクリック

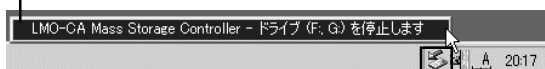


このアイコンをクリック

Windows 2000 の場合

「LMO-CA Mass Storage Controller- ドライブ (F; G:) を停止します」

この項目をクリック



このアイコンをクリック

Windows XP では「USB 大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます」とメッセージが表示されたら取り外し可能となります。

Windows 98, 2000 の場合はそれぞれ以下のようなメッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。



Windows 98 で表示される
メッセージ

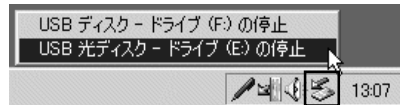


Windows 2000 で表示される
メッセージ

USB ケーブルをパソコン側、本製品の順で外し、本製品の電源を OFF にして AC アダプタを外してください。

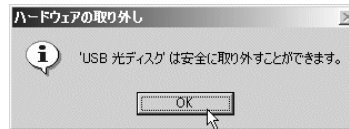
Windows Me での取り外し手順

タスクバーのシステムトレイに表示されている以下のアイコンをクリックして表示される「USB 光ディスク - ドライブ (E:)」をクリックしてください。



このアイコンをクリック

以下のメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。



再び手順 と同様にアイコンをクリックして「USB ディスク - ドライブ (F:)」をクリックします。

「USB ディスク」は安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されるので「OK」ボタンをクリックしてください。

USB ケーブルをパソコン側、本製品の順で外し、本製品の電源を OFF にして AC アダプタを外してください。

2 . 6 補足事項

ドライバ署名オプションについて

「Microsoftデジタル署名」が取得されていないドライバ/セットアップ情報をインストールしようとする時、「デジタル署名が見つかりませんでした」のウィンドウが表示されますが、「インストールを続行しますか?」と表示されない場合は、エラーが発生して、インストールを完了することができません。この現象は、「ドライバ署名オプション」が「ブロック」に設定されている場合に起こります。ドライバ/セットアップ情報のインストールを完了するためには、「ドライバ署名オプション」を「警告」に変更してから、インストールを行う必要があります。ここでは、変更の手順を説明します。

ご注意

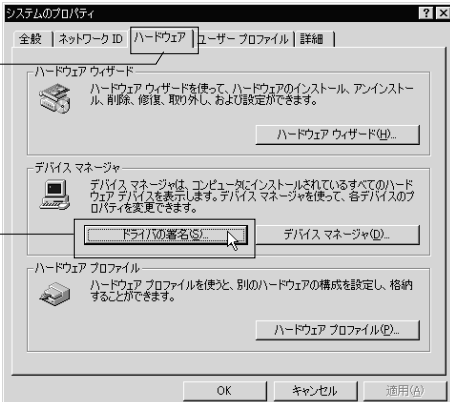
- ・使用するパソコンをシステム管理者の方がご設定いただいている場合には、本記載内容をシステム管理者の方にご参照いただき、設定変更等はシステム管理者の方が行ってください。
- ・ここで説明する手順を実行すると、「ドライバ署名オプション」を「警告」に変更します。必要に応じてドライバ/セットアップ情報のインストール終了後、変更前の「ブロック」の状態に戻しておいてください。

マイコンピュータアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「ハードウェア」タブをクリックして、「ドライバの署名」ボタンをクリックしてください

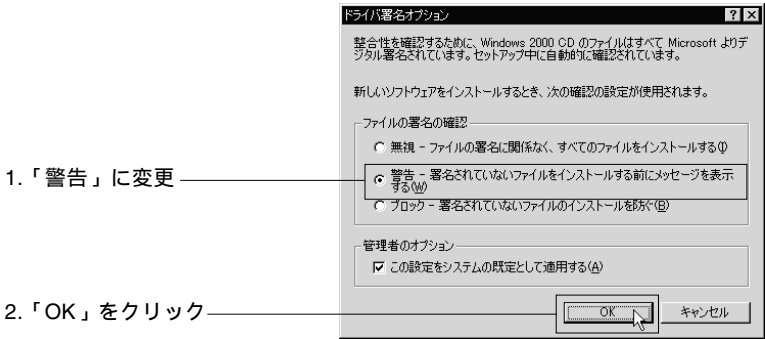
1. 「ハードウェア」タブをクリック

2. 「ドライバの署名」ボタンをクリック



The screenshot shows the 'System Properties' dialog box with the 'Hardware' tab selected. The 'Hardware Wizard' section is visible, and the 'Driver Signature' button is highlighted with a red box. A mouse cursor is pointing at the button. The 'Device Manager' button is also visible. The 'Hardware Profile' section is at the bottom. The dialog box has a title bar 'システムのプロパティ' and a menu bar with '全般 | ネットワーク ID | ハードウェア | ユーザープロフィール | 詳細 |'. The 'Hardware Wizard' section has a sub-header 'ハードウェア ウィザード' and a description: 'ハードウェア ウィザードを使って、ハードウェアのインストール、アンインストール、削除、修復、取り外し、および設定ができます。' Below the description is a button 'ハードウェア ウィザード(H)...'. The 'Device Manager' section has a sub-header 'デバイス マネージャ' and a description: 'デバイス マネージャは、コンピュータにインストールされているすべてのハードウェア デバイスを表示します。デバイス マネージャを使って、各デバイスのプロパティを変更できます。' Below the description is a button 'デバイス マネージャ(D)...'. The 'Driver Signature' button is highlighted with a red box and a mouse cursor. The 'Hardware Profile' section has a sub-header 'ハードウェア プロファイル' and a description: 'ハードウェア プロファイルを使うと、別のハードウェアの構成を設定し、格納することができます。' Below the description is a button 'ハードウェア プロファイル(P)...'. At the bottom of the dialog box are buttons 'OK', 'キャンセル', and '適用(A)'.

「ドライバ署名オプション」ウィンドウが表示されるので「ファイル署名の確認」欄の設定を「警告」に変更して「OK」ボタンをクリックしてください。



「システムのプロパティ」ウィンドウを閉じてください。以上で「ドライバ署名オプション」の変更は終了です。ドライバのインストールが完了していない場合は、「2.1.4 Windows 2000 の場合」を参照してドライバのインストールを再開してください。

メディアをセットした状態でのWindowsの起動について

本製品にMOメディアまたはメモ리카ードをセットした状態で、Windowsのシステムを起動または、再起動すると、セットしたメディアを正常に認識しない場合があります。Windowsの起動後に各メディアをセットしてご使用ください。

メディア ID について

本製品はメディア ID 規格に対応しております。今後様々な形でメディア ID (Media ID)を前提とした著作権保護が施されたコンテンツの配信が予定されますが、メディア ID 規格に対応していれば、このようなコンテンツを保存 / 再生することが可能です。

付属の「LogitecWare」CD-ROM からメディア ID 対応ドライバをインストールすれば、本製品をメディア ID 対応のMOドライブとしてご使用いただくことができます。

(メディア ID 対応ドライバにつきましては付属の「LogitecWare」CD-ROM をご参照ください。)

第3章 Macintosh 環境での使用方法

本書作成時点で、Macintosh シリーズでは USB 2.0 High-Speed はサポートされていません。そのため、データの最大転送速度は USB 1.1 (Full-Speed) までとなります。

3.1 接続とインストール

ここでは、本製品のドライバをインストールして、本製品を接続するまでの手順をご説明します。インストールを行う前に、他の全てのプログラムを終了させておいてください。

3

Point ポイント

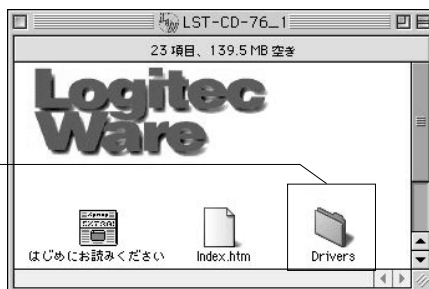
Mac OS X 10.1.3 以降をご使用の場合は、OS 標準のドライバで動作しますので、以下の手順でのドライバのインストールは不要です。「3.1.2 本製品の接続」へお進みください。

3.1.1 ドライバのインストール

1 本製品を接続していない状態で Macintosh のシステムを起動し、「LogitechWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

2 以下のウィンドウが表示されますので「Drivers」フォルダをダブルクリックして開きます。

このアイコンを
ダブルクリック

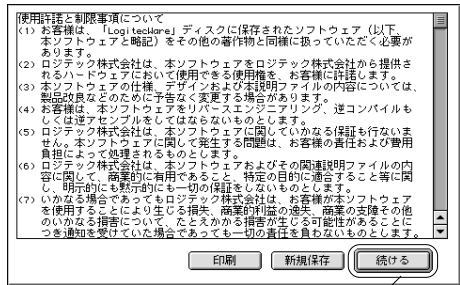


- 3 右のウィンドウが表示されますので、「ディスクドライバインストーラ」のアイコンをダブルクリックして開いてください。

このアイコンを
ダブルクリック



- 4 インストーラが起動して、使用許諾と制限事項が表示されます。内容を確認して、同意する場合には「続ける」ボタンをクリックします。(ここで「同意しません」をクリックするとインストーラが中止されます。)



「続ける」をクリック

- 5 以下のウィンドウが表示されます。必要に応じてインストールの場所を指定して、「インストール」ボタンをクリックしてください。(特に指定のない場合は「Macintosh HD」の中にインストールされます)



1. 場所を指定する場合は、ここで指定します。

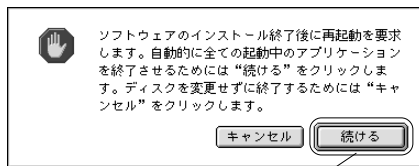
2. 「インストール」をクリック

3.1 接続とインストール

3.1.1 ドライバのインストール

6

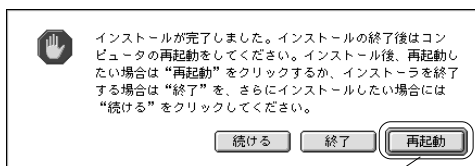
以下のメッセージが表示されます。他のプログラムなどが起動していないことを確認して、「続ける」ボタンをクリックしてください。



「続ける」をクリック

7

必要なファイルがシステムに転送され、終了すると以下のウィンドウが表示されます。「再起動」ボタンをクリックしてください。



「再起動」をクリック

システムが再起動されます。再起動したらドライバのインストールは終了です。「LogitechWare」CD-ROMをCD-ROMドライブから抜き出しておい
てください。続いて本製品の接続を行います。

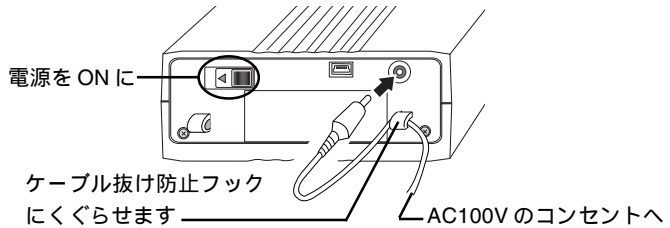
3.1.2 本製品の接続

1

パソコン本体の電源ONにしてシステムを起動させてください。

2

本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくぐらせてください。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続してください。ACアダプタの接続ができたなら本製品の電源スイッチをスライドして電源をONにします。



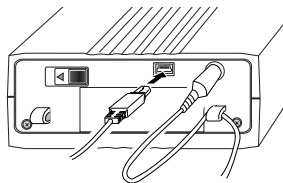
ご注意

背面の電源スイッチは「**▶**」方向にスライドさせた後、元の位置に戻ります。電源をOFFにする際も同じ方向にスライドさせてください。

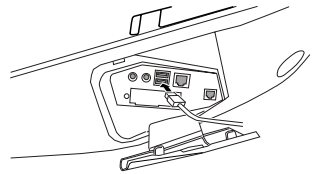
3

3

本製品前面の電源/MOアクセス表示ランプが緑色に点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズミニBコネクタと、パソコン本体のUSBポートを接続してください。



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側
大きい方のコネクタ

4

以上で接続とインストールは終了です。これで本製品を使用できる状態になりました。本製品にフォーマットされたメディアをセットすると、デスクトップ上にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとメディアにアクセスすることができます。(フォーマット手順につきましては「3.3 メディアのフォーマットについて」をご参照ください。



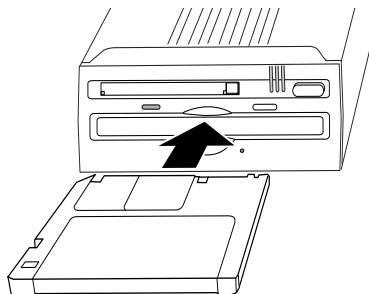
参考

Mac OS Xでは本製品を接続すると自動的に認識され使用できる状態になります。

3.2 メディアのセットとアクセスについて

MOメディアのセット方法

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でMOメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)

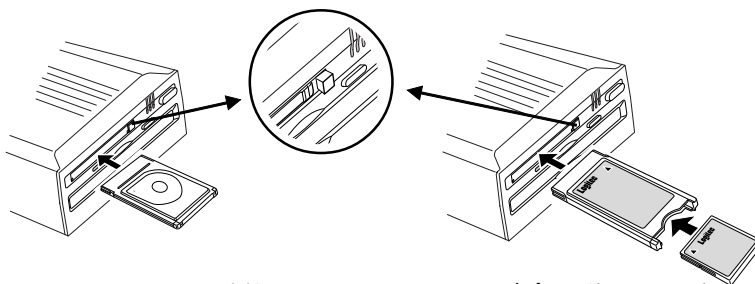


ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないで下さい。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

メモリーカードのセット方法

本製品にメモリーカードをセットする場合は、下図の方向でPCMCIAスロットにしっかりと奥まで挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)挿入後にイジェクトボタンが7mm程飛び出ます。



PCMCIA スロットに直接セットする カードアダプタを使用する場合
場合

メディアを取り出す場合は「3.4 メディアの取り出し方法について」をご参照ください。

Point

ポイント

付属のPCカードアダプタ(LMC-CA41AD)に対応メディアをセットしてPCMCIAスロットにセットした場合も、パソコンからは他のメモリーカードと同じように認識されます。

3.3 メディアのフォーマットについて

Macintosh環境ではMOメディア・メモリーカード共に以下の方法でフォーマットを行います。

Mac OS 9.2.2までの場合

「特別」メニューから「ディスクの初期化」起動してフォーマットを行います。

Mac OS X 10.1.3以降の場合

「移動」メニューから「アプリケーション (Application)」を選択し「ユーティリティ (Utility)」フォルダをクリックし「ディスクユーティリティ (Disk Utility)」を起動してフォーマットを行います。

ただし、上記の方法でフォーマットしたメディアはスタンドアロンモードでご使用になれません。スタンドアロンモードでの使用については「第4章 スタンドアロンモード」をご参照ください。



重要なご注意

- ・メモリーカードをデジタルカメラ等、本製品以外でもご使用の場合は、使用している機器にてフォーマットを行ってください。本製品にセットしてMac OS上でフォーマットを行うと、デジタルカメラ等で認識できなくなる場合があります。
- ・「Disk Utility」をMac OS X 10.1.3以降でご使用時にフォーマット形式に「MS-DOS」を選択した場合は、ボリュームを半角英数字11文字以内で指定してください。

Point

ポイント

Mac OSでフォーマットを行う場合、「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」のいずれかをお勧めします。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。

Mac OS 標準

従来のMacintoshシリーズでサポートされていた形式です。汎用性はありますが、大容量のMOメディアで選択すると、保管効率が悪くなります。

Mac OS 拡張

Mac OS 8.1からサポートされた形式です。大容量のMOメディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS 8.0以前のシステムではアクセスできなくなります。

3.4 メディアの取り出しについて

Mac OS 上で本製品にセットしたメディアを取り出したい場合は、必ずアンマウントを実行してください。アンマウントは次のいずれかの方法で行います。

デスクトップ上のアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップする。

デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、「特別」メニューの「取り出し」を選択する。(Mac OS Xの場合は「ファイル」メニューの取り出しを選択)

デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、キーボードから「アップル+E」キーを入力する。

MOメディアの場合は上記いずれかの方法を行うとメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。

メモリーカードをご使用の場合はいずれの方法でアンマウントした場合も「メディアを取り出します」というメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてから、メディアを取り出してください。(Mac OS Xではこのメッセージは表示されません。アンマウント操作後、数秒たってからメディアを取り外してください。)



MOメディアご使用の際のご注意

本製品前面のイジェクトボタンはMac OS が起動していないときに使用します。Mac OS 稼動中は使用しないでください。

3.5 補足事項

本製品を取り外す場合は...

本製品はUSBインターフェースを採用しているため、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONになっている状態での取り付け・取り外し)が可能です。ただし、以下の点にはご注意ください。

本製品を取り外す場合は、必ず全てのメディアをアンマウントして本製品から取り外しておいてください。

スリープ設定について

本製品はスリープには対応しておりません。以下の手順でスリープ設定を「しない」にして本製品をご使用ください。

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2の場合

「アップル」メニューから「コントロールパネル」「省エネルギー設定」をクリック。

「省エネルギー設定」ウィンドウで「スリープ設定」タブが選択されていることを確認。

「スリープ設定までの非動作時間」を「しない」に設定してウィンドウを閉じます。

Mac OS X 10.1.3以降の場合

「アップル」メニューから「システム環境設定」をクリック。

「システム環境設定」ウィンドウの一覧の中から「省エネルギー」をクリック。

メディアをセットした状態でのMac OSの起動について

本製品にMOメディアまたはメモリカードをセットした状態で、Mac OSを起動または、再起動すると、セットしたメディアを正常に認識しない場合があります。Mac OSの起動後に各メディアをセットしてご使用ください。

第4章

スタンドアロンモード

スタンドアロンモードではパソコンに接続せずにてMOメディアのフォーマットをする「フォーマットモード」およびメモリーカードからMOメディアヘデータのコピーをする「コピーモード」の機能を搭載しています。本章でこれらの機能の使用方法についてご説明いたします。

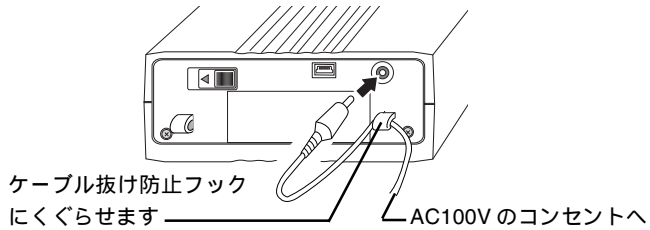
4.1 MOメディアのフォーマット

フォーマットモードでMOメディアのフォーマットを行う場合、以下の点にご注意ください。

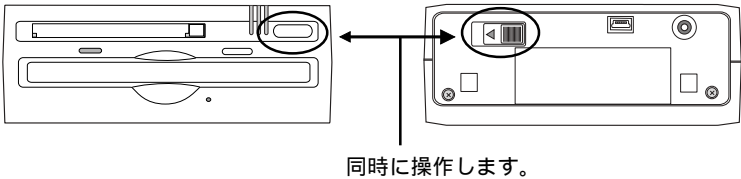
- ・640MBのMOメディアをフォーマットモードでフォーマットした場合、Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2までおよび、Mac OS X 10.1.3から10.1.5の環境ではアクセスできません。(Mac OS X 10.2.2以降では使用できます。)これはスタンドアロンモードで640MBのMOメディアをフォーマットすると形式が「FAT16//2048セクタ」となるのに対し、上記OS側がその形式をサポートしていないことによります。
上記OS環境で使用するMOメディアをフォーマットモードでフォーマットする場合は540MBまでのものをご使用ください。

フォーマット手順

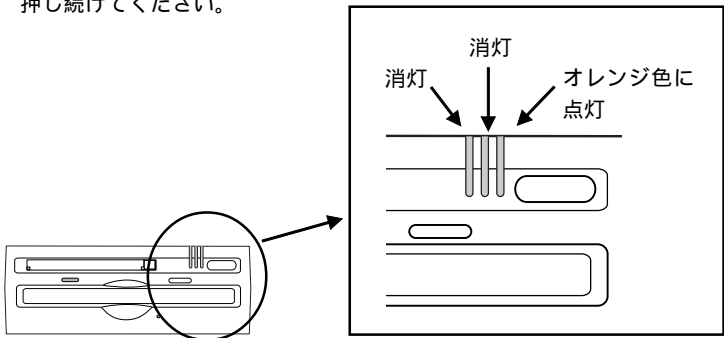
- 1** 本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックにくぐらせてください。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続します。



- 2** 本製品前面のコピーボタンを押しながら、背面の電源スイッチをスライドさせてください。

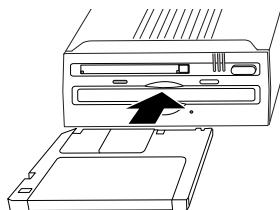


コピーボタンはステータスランプ1(右端)がオレンジ色に点灯するまで押し続けてください。



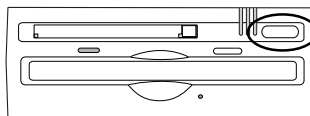
3

MOメディアを本製品にセットしてください。(ステータスランプ2が赤色に点灯します。)



4

本製品前面のコピーボタンを押します。



5

MOメディアのフォーマットが始まります。フォーマット中はステータスランプ1がオレンジ色に点滅します。

ステータスランプ1が赤色に点灯し、ステータスランプ2が点滅をはじめた場合はMOメディアに何らかの問題がある場合が考えられます。「5.1.2 スタンドアロンモードでのトラブル」をご参照ください。

4

6

正常にフォーマットが終了すると、状態表示ランプが消灯します。以上でフォーマットは終了です。終了後本製品は自動的にコピーモードになります。

フォーマットしたメディアを使用してそのままコピーを行う場合は「4.2 メモリーカードからMOメディアヘータのコピー」のコピー手順以降をご参照ください。

いったん終了する場合は、前面のMOイジェクトボタンを押してメディアを取り出し、背面の電源スイッチをスライドさせて電源を切り、ACアダプタを取り外しておいてください。

4.2 メモリーカードからMOメディアヘデータのコピー

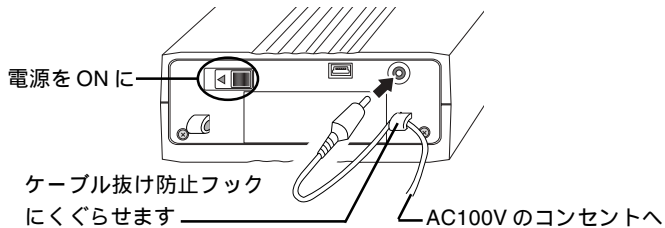
コピーモードでメモリーカードからMOメディアヘデータをコピーする場合は以下の点にご注意ください。

- ・コピーモードではフォーマット形式がFAT 16のメディアのみ認識されません。HFS、FAT 32、NTFS等でフォーマットされたメディアはご使用になれません。
- ・MOメディアからメモリーカードへのデータコピーはできません。
- ・コピーを実行する際、コピー元となるメモリーカードのデータ容量が、コピー先のMOメディアの空き容量を越える場合はエラーとなります。

コピー手順

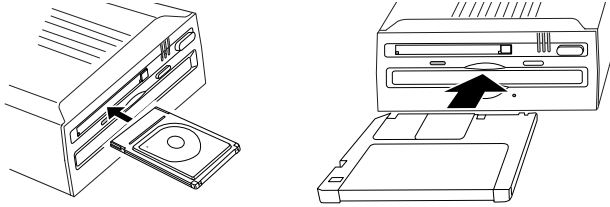
1

本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックにくぐらせてください。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続します。接続ができれば電源スイッチをスライドさせて電源をONにします。



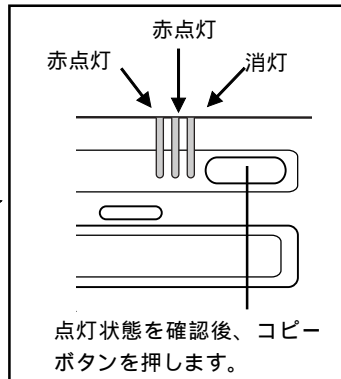
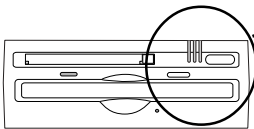
2

電源/MOアクセス表示ランプが緑色に点灯したことを確認したら、メモリーカード、MOメディアの順で本製品にセットします。



3

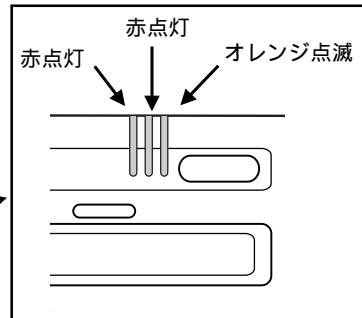
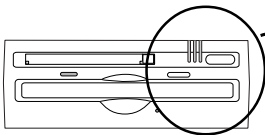
ステータスランプ2(中央:MOメディアに対応)、ステータスランプ3(左側:メモリーカードに対応)の各ランプが赤色に点灯したことを確認して、コピーボタンを押します。



4

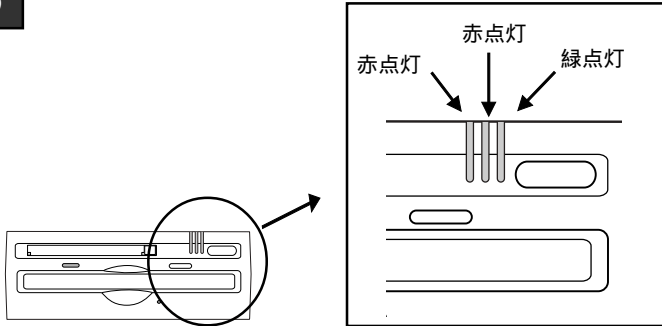
4

コピー中はステータスランプ1(右端)がオレンジ色に点滅します。



ステータスランプ2(MO側)または3(メモリーカード側)が点滅し、ステータスランプ1が赤色に点灯した場合は、点滅をしている側のメディアに何らかのエラーがある場合が考えられます。「5.1.2 スタンドアロンモードでのトラブル」をご参照ください。

5 コピーが正常に終了するとステータスランプ1が緑色に点灯します。

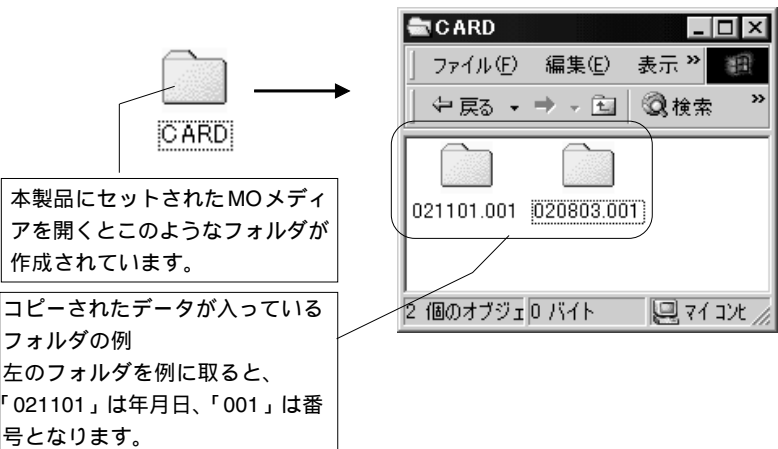


6 以上でコピーは終了です。点滅しているランプがないことを確認して、各メディアを取りだしてください。取り出し後、背面の電源スイッチをスライドさせて本製品の電源を切ります。

Point

コピーされたデータは、MOメディアの中に自動的に作成される「CARD」というフォルダの中にフォルダ単位でコピーされます。フォルダ名は「年月日+番号」となります。

「年月日」にはメモリーカード内に保存されている任意のデータファイルの保存日時が適用されます。



Windows 環境でフォルダを確認した場合の例

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

5.1.1 パソコン接続時のトラブル

本製品の電源が入らない

電源ケーブルがしっかりと接続されていますか。

ACアダプタは本製品付属のものを使用していますか。本製品付属以外のACアダプタは使用しないでください。

本製品を接続したが認識されない。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？

ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。本製品をUSBハブ経由で接続している場合は、パソコンのUSBポートに直接接続して試してみてください。

特定のMOメディアをアクセスできない。

そのMOメディアはフォーマットされていますか？ 一般にMOメディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォーマットのみではアクセスはできません。本書記載の方法でフォーマット（論理フォーマット）を行ってください。

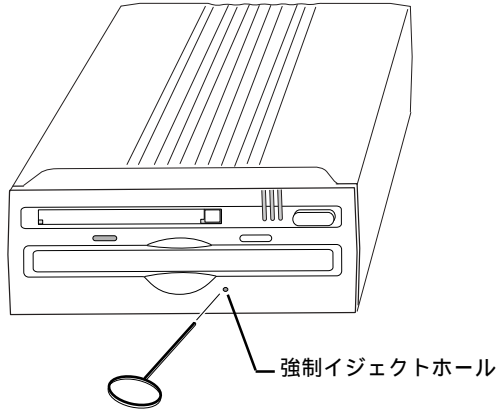
MOメディアではスーパーフロッピーフォーマット（FAT16）形式が一般的ですが、ハードディスク形式やアップルコンピュータ社のMacintoshシリーズ用にフォーマットされたディスクもあります。異なるシステムとデータ交換を行う場合には、スーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用してください。（MacintoshシリーズでスーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用するには、MacOS標準のユーティリティ「PC Exchange」が必要です。）

そのMOメディアが本製品で使用できる容量のものかどうかを確認してください。使用可能なMOメディアについては、「1.4 使用可能なメディアについて」をご参照ください。

MOメディアのイジェクトができない

アクセス表示ランプが点灯していないか確認してください。アクセス中はアクセスが終了するまでお待ちください。

ソフトウェアの中には、MOメディアのイジェクトを禁止するものがあります。現在使用中のソフトウェアを終了して試してください。上記の項目に当てはまらない場合、一度、本製品を再接続および電源の再投入を行なって試してください。それでもだめな場合は、本製品の電源を切って、付属のMOイジェクトツールを強制イジェクトホールに差し込み、強く押してください。



ご注意

本製品の電源がONの状態では、強制イジェクトは行なわないでください。

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）でMOメディアを使用できない。

一部のユーティリティソフトウェアでは、動作対象がハードディスクのみになっている場合があります。ソフトウェアメーカーにお問い合わせ、そのソフトウェアがMOメディアを動作対象としているかどうかを確認してください。

一部のソフトウェアでは、動作中のディスク交換の問題などからインストール対象をハードディスクに限定している場合があります。ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

MOメディアのアクセス時にエラーが発生する。

MOメディアは汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行ってみてください。

MOメディアの不良も考えられます。別のディスクで試してください。これで問題がなければ、エラーが発生するMOメディアのデータをバックアップして、再フォーマットを行ってください。

MOメディアに書き込みができない。

MOメディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

特定のメモリーカードをアクセスできない。

そのメモリーカードをフォーマットしたデジタルカメラ等に戻して、認識できるかどうかを確認してください。これで認識できない場合は、そのメモリーカードのフォーマットは壊れています。デジタルカメラなどで再フォーマットを行なってください。

そのメモリーカードが本製品で使用できる容量のものかどうかを確認してください。使用可能なMOメディアについては、「1.4 使用可能なメディアについて」をご参照ください。

特定のメモリーカードに書き込みだけができない。

メモリーカードの種類によっては、ライトプロテクト(書き込み禁止)の機能があります。書き込み禁止されていないかどうか確認してください。

本製品でフォーマットしたメモリーカードをデジタルカメラにセットしたが認識されない。

デジタルカメラでは基本的なフォーマットはパソコンと同じでも、特定のボリュームラベルやフォルダがないと認識されない場合があります。もっとも確実な方法は、そのデジタルカメラで再フォーマットを行なうことです。(再フォーマットを行なうと、そのメモリーカードに保存されたデータは失われますので必要に応じてバックアップを行なってください。)

WindowsMe で本製品を接続すると、パソコンがハングアップ状態（キーボードやマウスの操作をまったく受け付けない状態）になる。

本製品を接続しない状態でドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

Windows2000 で本製品を接続したときにメモリーカード側のドライバが認識されない

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？本製品はドライバのインストールを行ってから接続しなければメモリーカード側のドライバが認識されません。

ドライバをインストールしないで接続した場合や、本製品接続後にドライバをインストールした場合は、以下の方法をお試しください。

デバイスマネージャ上で「USB(Universal Serial Bus)」を開き「大容量記憶装置デバイス」を削除してください。

本製品を取り外します。

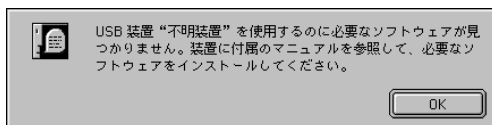
まだ本製品のドライバをインストールしていない場合は、この後、「2.1 接続とインストール」の「2.1.4 Windows 2000 の場合」を参照して再度ドライバのインストールを行い、本製品を接続してください。

すでに本製品のドライバをインストールしている場合は、「2.1.4 Windows 2000 の場合」の手順以降をご参照ください。

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラム等によりこの現象を回避できる場合もあります。アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ（サスペンド）機能をOFFにしてご使用ください。

Macintosh シリーズで本製品を接続すると、以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品のドライバがインストールされていません。第4章にしたがって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

データ転送速度が遅い

USB2.0のポートに正しく接続されていますか。

USB1.1のポートに接続されている場合、データの転送速度はFull-Speed (最大理論値 12Mbps) までとなります。High-Speed (最大理論値 480Mbps) で転送を行なうにはUSB2.0ポートにつなぎかえてください。

パソコン本体にUSB2.0ポートがない場合は別売りのUSB2.0インターフェイスボード (PCI用インターフェイスボード、もしくはCardBus対応USB2.0インターフェイスカード) を接続してドライバのインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

5.1.2 スタンドアロンモードでのトラブル

フォーマットモードでステータスランプ2が点滅し正常にフォーマットできない。

MOメディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

そのMOメディアが本製品で使用できる容量のものかどうかを確認してください。使用可能なMOメディアについては、「1.4 使用可能なメディアについて」をご参照ください。

そのMOメディアのフォーマット形式はFAT 32、NTFS、HFSのいずれかではありませんか？本製品はスタンドアロンモードではFAT16のメディアしか認識できません。

フォーマットモードでフォーマットした640MBのMOメディアにアクセスできない。

ご使用のOSはMac OS 9.0.4 ~ 9.2.2またはMac OS X 10.1.3 ~ 10.1.5ではありませんか？これらのOSからは本製品でフォーマットした640MBのMOメディアにアクセスすることはできません。540MB以下のメディアをご使用ください。

コピーモードでステータスランプ2が点滅しコピーに失敗する

セットされたMOメディアに問題があります。以下の点を確認してください。

- ・ライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていないか。
- ・そのMOメディアの記録可能容量が、コピー元のメモリーカードのデータ容量より少なくないか。
- ・そのMOメディアのフォーマットがFAT16でないか、もしくは未フォーマットではないか。
- ・MOメディアが破損していないか。

コピーモードでステータスランプ3が点滅しコピーに失敗する

セットされたメモリーカードに問題があります。以下の点を確認してください。

- ・そのメモリーカードのフォーマットがFAT16でないか、もしくは未フォーマットではないか。
- ・メモリーカードが破損していないか。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

5 . 2 保守とその他の注意事項

メディアのクリーニング

MOメディアは1～3カ月に1回程度、市販のクリーニングキットを使用してクリーニングする必要があります。(使用環境/頻度によって異なりますので、エラーが多発する場合はもう少し頻繁にクリーニングしてください。)

レンズ・ヘッドのクリーニング

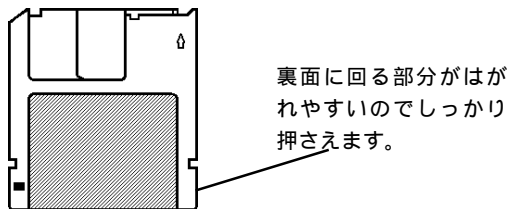
本製品内部のレンズ・ヘッドは3カ月に1回程度、別売のレンズクリーニングキットを使用してクリーニングする必要があります。(使用環境/頻度によってはもう少し頻繁にクリーニングした方がよい場合もあります。)クリーニングの方法についてはクリーニングキットの取扱説明書をご参照ください。

ロジテック株式会社 レンズクリーニングキット 「LMO-CA651U2-01」

MOメディアのラベルについて

MOメディアにラベルを貼付する場合は、必ず指定の位置に1枚だけ貼ってください。また、貼った後ではがれないようにMOメディアの両面をしっかりと押さえてください。(最近のラベルには再剥離可能なようにのりが弱いものもあります。そのようなラベルはできるだけ使用しないでください。)

不適切な位置に貼ったり、2枚貼りするとMOユニット内部でラベルがはがれて、MOメディアがイジェクトできなくなる恐れがあります。



斜線の部分からはみ出さないように貼ります。

ハードウェア仕様

機種名		LMO- CA651U2	
使用可能メディア *1		3.5 型 MOメディア PCMCIA TYPE スロットに 接続可能なメモリーカード	
カード リーダー	搭載スロット	PCMCIA TYPE	
MO ドライブ	平均シークタイム	28 ms	
	キャッシュメモリ	2 MB	
	ディスク回転数 *2	5150 rpm 4900 rpm	
インターフェース		USB 2.0 High- Speed (従来の USB 1.1互換)	
コネクタ		USB シリーズ mini- B	
最大同期転送速度 *3		480 Mbps (High- Speed) 12 Mbps (Full-Speed)	
環境条件 *4	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	20% ~ 85%
入力電圧		AC100V ± 10% 50/ 60 Hz *5	
消費電力 (定格)		10 W *6	
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)		42 × 109 × 167 mm *7	
質量		720 g *8	

*1 対応メディアについては「1.4 使用可能なメディアについて」を参照

*2 128MB/23MB メディア使用時は 5150 rpm
540MB/640mb メディア使用時は 4900rpm

*3 理論値

*4 ただし結露なきこと

*5 AC アダプタ

*6 AC アダプタ含む

*7 縦置き時，突起部を除く。

*8 本体のみ



<http://www.logitech.co.jp/>